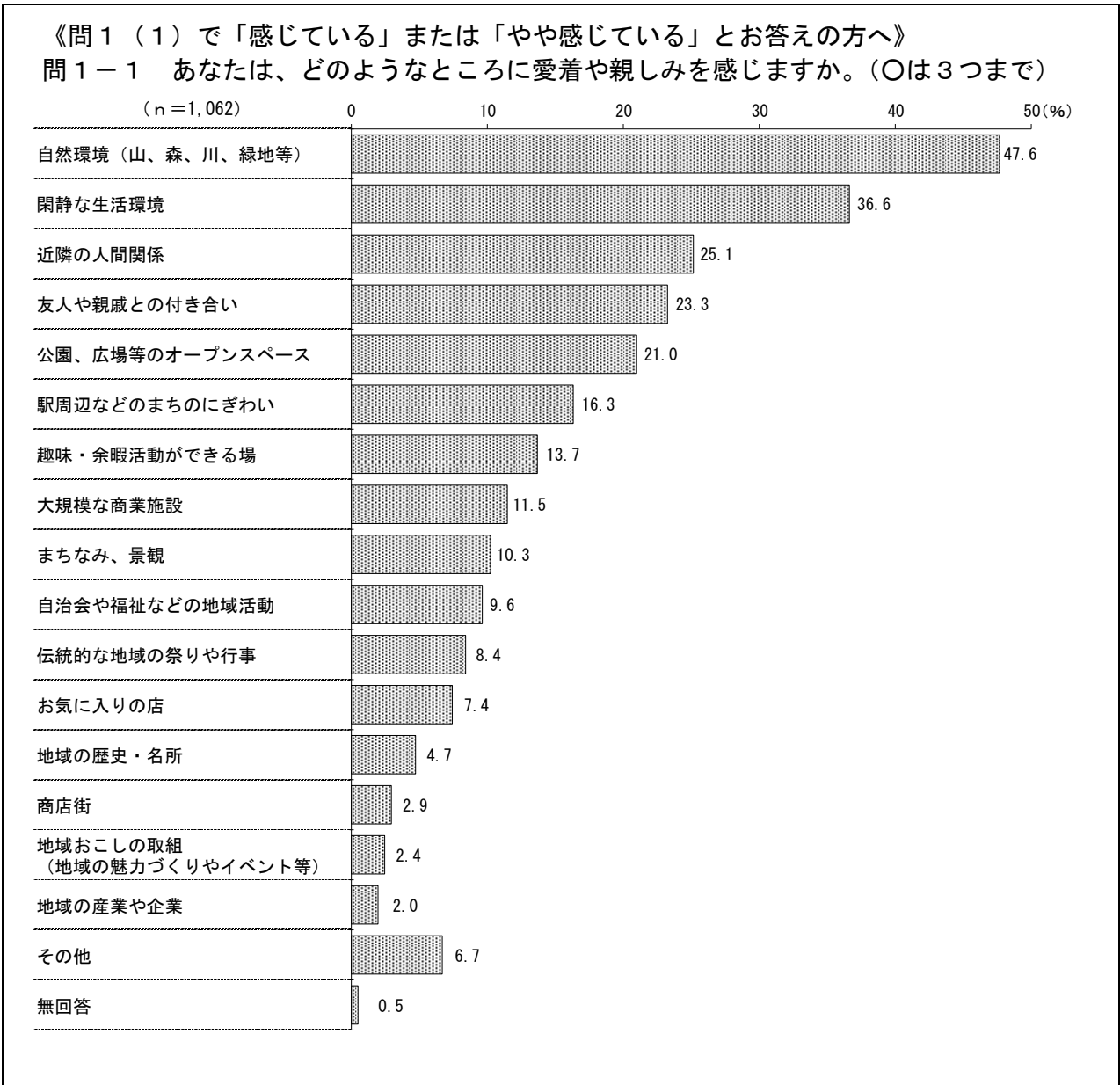


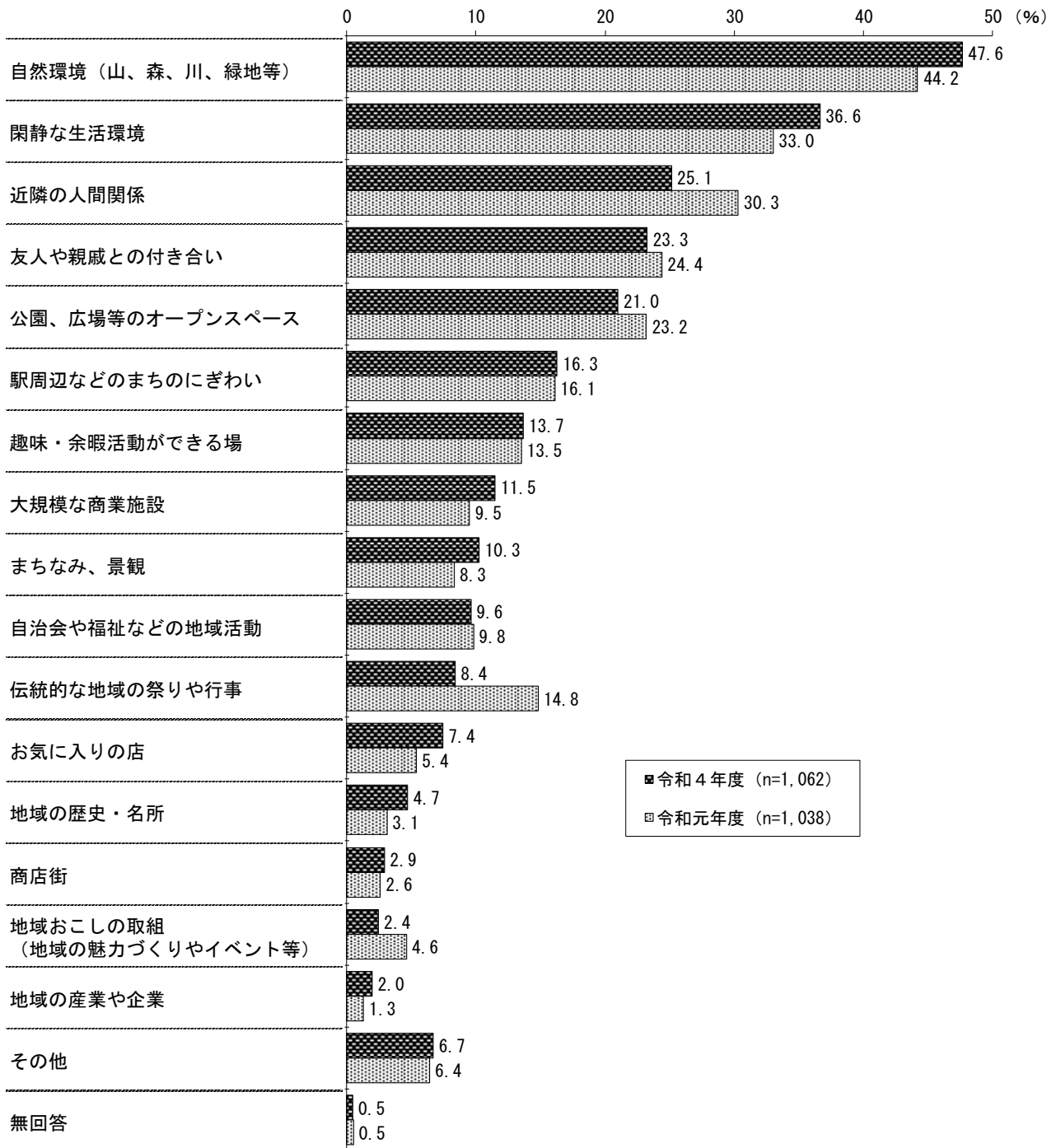
(1-1) 相模原市に愛着や親しみを感じるどころ



相模原市に対して愛着や親しみを「感じている」または「やや感じている」と答えた方に、どのようなところに愛着や親しみを感じているかたずねたところ、「自然環境 (山、森、川、緑地等)」(47.6%)が4割半ばを超えて最も高く、次いで、「閑静な生活環境」(36.6%)、「近隣の人間関係」(25.1%)、「友人や親戚との付き合い」(23.3%)、「公園、広場等のオープンスペース」(21.0%)と続いている。

<経年比較>

過去の調査結果と比較すると、「閑静な生活環境」は令和元年度より3.6ポイント増加している。一方、「近隣の人間関係」は令和元年度より5.2ポイント減少している。



<性別・性／年齢別・区別結果> (上位10項目)

性別でみると、「近隣の人間関係」で7.4ポイント、「友人や親戚との付き合い」で9.6ポイント、それぞれ女性が男性より高くなっている。一方、「閑静な生活環境」では、7.4ポイント、男性が女性より高くなっている。

性／年齢別でみると、「閑静な生活環境」は男性30～39歳で5割を超えている。「友人や親戚との付き合い」は男性30歳未満で4割と高くなっている。

区別でみると、「自然環境(山、森、川、緑地等)」は緑区で6割近くと高くなっている。「閑静な生活環境」は全ての区で3割半ばを超え、高くなっている。

